



編集・発行
上甕中学校 P T A 研修部

所在地・連絡先
薩摩川内市上甕町中甕 191 番地 1
0 9 9 6 9 - 2 - 0 0 1 4

生徒・保護者・先生が心をひとつに



～祝 入学～



「就任のあいさつ」

PTA 会長 野口 和久

小暑の候、PTA 会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、平成二十八年度 PTA 会長を務めさせていただくことになりました野口です。

上甕中学校は、生徒数十九名と皆様ご存じの通り生徒数が減少傾向にあり、それに伴い P 戸数も少なくなっております。この少ない P 戸数の中で、一年間、会員の皆様と PTA 活動、運営をしていかなければなりません。そのためにも会員の皆様のご協力が必要となりますので、よろしくお願いいたします。

生徒の皆さんにおいては、親元を離れ、島立ちするための大切な中学校生活です。特に三年生はあと約八ヶ月しかありません。悔いが残らないよう、楽しい中学校生活を送ってください。

最後にになりましたが、保護者の皆様、そして先生方に一年間のご支援ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



一学期を終えるにあたって

校長 小原 忍

七月に入り、梅雨もなかなか明けず、天候も悪く中でしたが、生徒が日頃の成果を披露する行事が続き、水泳記録会、校内弁論大会、小中一貫教育実践発表会における公開授業等です。いずれにも多くの保護者の皆さまに参観していただき、ありがとうございました。日頃は「もう少し頑張れば？」「もっと時間を有効に使えば？」などと子供たちに対して期待も大きいのですが、一つ一つの行事や毎日の授業を通して、確実に成長している姿が確認できたことと思います。子供たちの頑張りに、感動と勇気をもたらした気がします。生徒のためにまだまだできることがあると改めて思うことでした。

いよいよ長い夏休みが始まりますが、自分で自由に設計できる長い期間だからこそ、かねての学校生活ではなかなか達成できないことにも果敢に挑戦してほしいと思います。何よりも、周囲に感謝し、健康や安全に留意しながら、家族とともに過ごす時間を大切にしたいと願っています。

二学期もまた、学校行事等で保護者の皆さまには御協力を願う場面が多々あると思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



上甌中学校に入学して

新入生 宇宿 陽翔

ぼくは、中学生になって、小学校とは違うところが多くて、とても大変さを感じています。中でも特に大変だと感じたのが三つあります。一つ目は学習です。小学校の時より内容が難しくなり、宿題も増えました。その影響で寝るのが遅くなり、授業中にくらぶが難しくなりました。また、テストが難しくなり、テストの感覚が変わりました。

二つ目は生徒会活動です。生徒会新聞の「海風」づくりや切手収集、専門部ごとに毎月の目標を決め、具体的に活動しないといけないことなど、やらないといけないことが多くあります。どれも初めてなのですごく大変です。

三つ目は部活動です。ぼくは卓球部に入りました。初めてなのでなかなかうまくできませんでした。



これからは、テスト前はしっかり勉強し、先輩方から教えてもらいながら生徒会活動も少しずつできるようになっていきたいと思います。そして、部活動でも練習を充実させて試合で結果を出せるようになりたいです。

新入生保護者 宇宿 貴裕

甌島に赴任して五年目。家族とともに甌島に引越し、自然豊かな環境と心温かい友達に恵まれ、陽翔なりに成長し、ついに中学生としての日々が

スタートしました。

最初の一か月、小学校とは異なる学校生活に戸惑うことも多くあったかと思いますが、優しい先輩方や同級生に支えてもらいながら、少しずつ慣れることができたようです。また、部活動では悩みなながらも卓球部を選び、先輩方や先生方の御指導のおかげで、心身ともに少しずつ成長していき姿が見られ、親としても大変うれしく思っています。これから先、本人が乗り越えなければならぬ壁も出てくると思います。できるだけ、本人が自分の力で乗り越えていけるよう、サポートをしていければと思います。

自分の職場に自分の子がいるのは妙な感じですが、親子共々この上甌中学校で大きく成長できればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

新入生 内山 翔斗

ぼくは、中学校に入学して大変だな、難しくなつたなと思つたことが二つあります。一つ目は学習です。小学校より中学校は学習内容が詳しくなりました。先生方が指示した内容をノートに工夫して書いたり、文章で具体的に書いたりしないといけないのでとても大変です。二つ目は部活動です。ぼくは卓球部に入りました。先輩方と同じメニューで活動するようになり、心配なことが出てきました。一つのメニューができないと次のメニューにいきません。だから、少しでも時間がとれるように早く部活動に参加しないといけないと思っていました。

これからぼくは、学習と部活動の両立をしていきたいと思っています。だから、計画的に行動し、家では帰ったらすぐに宿題を終わらせ、復習・予習をしっかりしていきたいと思っています。

新入生保護者 内山 智子

翔斗、入学おめでとう。二年間、中津幼稚園で過ごし、卒園後、一年間を平良小学校で。やさしい先生方にめぐまれ、のびのびと楽しくすごしましたね。二年生から小学校卒業まで中津小でしたが、慣れるまでに時間がかかり、心配した時期もありました。でも中津ソフトボール少年団に入り、周りの温かい目に見守られながら、キャプテンまでつとめることができました。ちよこちよこ病気をして心配したこともありましたが、スポーツが大好きで本当に素直に育ってくれたと思っっています。父母はあなたが元気でいてくれるだけで幸せです。中学校に入学して、楽しく過ごしているので安心していきます。



最後に何事にも一生懸命な翔斗にこの言葉を贈ります。自分自身を大切に。そして勝負よりも大切な人を思いやるやさしい心。ありがとう、ごめんなさいを素直に言える心を大切に。そして、これから自分の経験を積んで大切な事を探していつてほしいです。父

新入生 山下 太史

ぼくは、入学式前日からとても緊張していました。初めて制服を着て登校することや二人も新しいメンバーが増えるという事で恥ずかしさも感じていたからです。そんな不安を抱えながら入学しました。入学してまず驚いたのは、朝学校に着

いたら職員室にかばんをおろしてからあいさつに行くことや日直の仕事として学級日誌を提出しなければならぬなど、しっかりとやらなければいけないことが多かったことです。また、生徒会活動にも驚きました。生活部と学習部に分かれ、自分たちで給食の洗濯をしたり、ゴミ捨てをしたり、放送をしたりしないといけません。まず、学校生活に慣れることから頑張りました。そして、少しずつ慣れてきました。しかし、部活動の練習や海風作りなど大変なことがたくさんあります。これからは、今まで以上に先輩方の話をしっかりと聞いて行動し、家では素振りをするなどの努力をしていきたいです。

新入生保護者 山下 大介

太史が上甕中学校に入学して、あつという間に三ヶ月目が過ぎようとしています。

早く中学生になりたいと口にしていた太史でしたが、実際に中学校生活が始まってみると、最初の頃はやはり環境の違いになかなか慣れず、毎日学校に行くことだけで必死でした。小学校のころとすると、帰宅時間も遅く、宿題も、中学校で苦勞しないよう小学生の時に鍛えていたのだいたにも関わらず、悪戦苦闘の日々でした。

しかし、「あー、疲れた。」と言いながら、毎日帰って来ていたのが、一月ほどすると、その言葉もなくなり、学校での出来事を少しずつ楽しそうに話してくれるようになりました。親としては、まだまだ心配していることも多々



ありますが、中学校三年間、毎日楽しく、一生懸命過ごしていけるよう、見守り、支えていければと思います。

先生方には大貴に引き続き、またお世話になります。頼りになる先生方なので、つつい任せていきりになってしまいがちですが、今後ともよろしくお願いたします。



ありがとうございます。先生方、お世話になります。先生方、お世話になります。

新入生 家吉 真央

私は、中学生になって大変だと思うことが二つあります。

一つ目は学習です。小学校とは違い、内容が少し難しくなりました。だから、黒板に書かれたことだけではなく、先生が話をされる中で大切なところを工夫して、まとめるようにしています。

二つ目は生徒会活動です。今までは自分たちで何かを作る・話し合いをするというような活動がなかったのですが、今一番苦勞しています。でも、自分たちでよりよい学校をつくっていくために、しっかりと自分の意見を言い、また、先輩方の動きや様子を見てついていけるようになりたいです。

これから、家での学習の内容をしっかりと考えて、学んだことを復習したり、自分の苦手なところを練習したりしていきたいです。また、今、あまり慣れていないことや分からないことは自分から積極的に先輩方に聞き、上甕中学校の生徒として、自分にできることに精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

新入生保護者 家吉 美紀

セーラー服のリボンの結び方も分からない我が子と知っている人が全くいないことへの不安だらけの母親。入学式の時間がせまっております、「学校に行けば誰か教えてくれるかも」といざ学校へ。受付を済ませるとまず

「リボンを結んでもらっていいですか。」と近くの方をお願いして結んでもらい一安心。右も左も分ならず、ただ周りについていくだけだった第一目でした。大丈夫かなあと不安がいつぱい。

娘は卓球部に入り、毎日大荷物を持つての登校。帰ってくる

「ああ、宿題が。」

と叫んでいます。筋肉痛に泣かされた数日を過ぎると、少しずつ色々なことに慣れてきた様子で、勉強のこと、部活動のこと、休み時間にしたことなど、色々な話を聞かせてくれます。笑いながら話を聞く私に



「もう。こっちはいろいろ大変なんだからね。」と文句を言う娘ですが、充実した生活を送れている様子に、一つ不安が消えました。

新入生 中尾 蓮夢

中学校に入学して、二ヶ月以上が過ぎました。今では学校生活にもだいぶ慣れ、毎日楽しく過ごしています。

私は中学校に入学して頑張っていることが二

つあります。一つ

目は家庭学習です。小学校と比べて学習内容も難しくなり、量も多くなっています。そのため、復習をしつかりしないといけません。

だから毎日BEを頑張っています。先輩方のノート等はとても見やすく工夫されています。私も工夫した学習を続け、学習内容をしっかりと身につけたいです。

二つ目は、生活リズムを整えることです。宿題をする時間が長いので、寝る時刻が遅くなり、朝は母や父にたたき起こされることがあります。寝不足になると授業に集中することができなくなるので今から生活を見直したいです。

これからさらに行事も増えていきます。どんなことにも率先してチャレンジしたいです。そして、充実した中学校生活を過ごしていきたいです。

新入生保護者 中尾 真由美

中学生活での期待と不安いっぱいでした。入学した日から、早いもので二ヶ月が過ぎようとしています。毎日新しい生活に慣れることに一生懸命だった初めの頃よりも、先生方や先輩方、クラスの仲間のおかげで、少しずつ学校生活や部活動を楽しむ余裕が出てきました。



中学校は自分の夢に向けての準備期間だと思って、蓮夢らしく進んで



いつてほしいと思います。必ずやってくる島立ちの日まで、学校、地域、家族での思い出をたくさんつくっていききたいと思います。皆様、よろしくお願いたします。

新入生 栢木 琴奈

私がこの上甕中に入学して、頑張ったことが二つあります。一つ目は海風作りです。新聞を作るのが初めてなので、「どうやって作るのかな」「分かりやすく作れるかな」と、とても不安でした。しかし、先輩方が優しく丁寧に教えてくださり、分かりやすい海風を作ることができました。できあがった海風を見て、とてもうれしかったです。そして、多くの人に読んでほしいと思いました。

二つ目は部活動の卓球です。初めての試合である地区総体に向けて、「二セットはとる」と心に決め、いろいろな練習を頑張りました。でも、本番ではいつも通りにプレーできず、一セットもとれずに終わってしまいました。試合後、一回一回の練習の大切さが分かっていなかったので感じました。入学してからの三ヶ月間、大変だったけれど少しずつ何をすべきかわかってきました。先輩方の動きを真似し、海風作りの手順をマスターしたいです。また、



部活動では一回一回の練習を大切に、十月の新人戦では一勝できるように頑張ります。

新入生保護者 栢木 直美

四月より、甕島に家族で引っ越してきました。前の家に九年間住んでいたのですが、転校することが分かるとても不安そうでした。その緊張もあり、春休み中にインフルエンザにかかり、入学式にも出られず、寂しい思いをさせました。しかし、登校初日には、先生方や友だちが温かく迎えてくださり、家で学校のことを楽しく話してくれました。そんな娘の制服姿を見ていると、無事に成長した喜びで胸が熱くなりました。

カバンには、たくさんの教科書やノートが入っていて、その重さにびっくりしました。でも教科書にはたくさん書き込みがされ、付箋も張られており、頑張っていることがよく分かりました。

部活動にも入部し、中学校生活にも少しずつ慣れてきたようです。中学校での出会いを大切にしつつ、自分の夢に向かって努力し続けてほしいと思います。娘のこれからの成長をたくさん感じられる三年間にしていきたいと思っています。

地区総体を終えて

卓球部保護者 是枝 純子

六月七日・八日の二日間にわたり、サンアリーナ川内において、川薩地区中体連卓球大会が行われました。今大会は、一年生五名、二年生四名、三年生四名の十三名で出場しました。一年生は初めての試合、また三年生においては最後の地区大会になり、気持ちのこもった試合でした。

前日から島を出て、まずは図書館で三時間勉強し、御陵下会館において二時間、蒸し暑い中、熱の入った練習をして、翌日の団体戦に挑みました。



団体戦で女子はチームワークのよさを發揮し、一勝できました。男子も四名と少ない中、善戦し、各自が個人戦へつなげました。個人戦では一年生は緊張の中、二ヶ月間の練習の成果を出し、初戦を終えました。二年生の愛樹さん、響希さんは入賞し、県大会出場を決めることができました。そして三年生の茉莉、珠凜さん、怜奈さん、百恵さんは勝ち進むことができましたが、四人それぞれが三年間の練習の成果を發揮し、一番よい試合を見せてくれました。

これまでご指導してくださった先生方、指導者のみなさんに心から感謝いたします。三年生は、部活動を通して身につけた集中力を發揮して、受検に向けて頑張ってください。そして一年生には、これからのさらなる活躍を期待しています。

剣道部保護者 岩下 佐枝子

三年間子供たちをご指導くださった先生方、弦太と一緒に部活動に励んでくれた仲間たち、本当にありがとうございました。色々な試合と一緒に行かせていただき、悔しい思い、達成感などを味

わってきたかと思えます。最後の地区総体では、部員一人一人が一对一の勝負で諦めることなく、引き分けや延長など粘り強さを見せられました。その結果、団体戦では決勝トーナメントまで出ました。「がんばって」と声もかけられないくらい緊張感中で、本当に感動する勝負を見せてくれました。個人戦も延長が続きましたが、粘り強く勝負していました。里音さんが試合後に言った「一番いい試合ができました。自分を出し切れませんでした。」の一言で涙が出てしまいました。みんなが力を合わせて、力強く、すばらしいチームワークで一つになって試合に挑む姿が見られました。

みなさんに応援していただき、弦太は県大会に出場できることになりました。自分自身、悔いの残らないように、三年間の思いを出し切って試合に臨んでほしいと思います。

最後に、息子が剣道部に入部し、先生方、保護者の方々、息子の仲間たちと交流ができ、親としてとても楽しく過ごさせていいただきました。本当に三年間ありがとうございました。



平成二十八年度転入職員紹介

教頭 佐土原 賛

「先生は、もう長いことここに居るような感じですね。」

赴任して2週間ほど過ぎた頃、主事の小川さんがそう話してきてくれたことを覚えています。正直、それを聞いて、私はとても嬉しく思いました。一日も早く、この職員や生徒たちの仲間になリたかったからです。些細なことですが、自分の体育館シューズが生徒たちの履いているシューズと同じであることさえ、私にとっては心くすぐられる出来事で、今では数少ないラッキーアイテムの一つです。

現在、四ヶ月ほど経って、意外に縁のある土地であることが分かってきました。以前の教え子の祖母や昔の同僚のご家族、中学時代の先輩や担任の先生、同級生や今は亡き父と縁のある方など、どこかでつながる方々が身近にいらつしやいます。職員も皆、懐が深くやる気に満ちあふれています。そうした諸々の条件あつての今の私なのだろうと思えます。

生徒はもとより、学校を、地域を、職員と一枚岩になって盛り上げていけたら、これ以上の幸せはありません。どうぞよろしくお願いいたします。

教諭 岩崎 賢一

三年前に、本土を離れ奄美大島の朝日中学校に赴任してから、島の生活が始まりました。鹿児島はこれだけたくさんの島をもっているのに、島の生活は初めてで、何もかもが新鮮で驚きの連続でした。何より驚いたのは、やはり自然の美しさで

す。山も海も豊かで魅力的で何時間見てもあきず時間を忘れることもしばしばでした。奄美を去るとき島民のみなさんと別れるのはいやでしたが、奄美の風景が見られなくなるのは、もつとさびしかったです。でもそのときお別れのことは、びしかなかったです。でもそのときお別れのことは、「奄美と甑島は、海でつながっているのだから海を見たらみんなのことを思い出すので、みんなも私たちのことを思い出して下さい」とお別れしこの甑島に赴任してきました。しかし甑島に来て、奄美に負けない海の透明度や豊富な魚介類の数々、カノコユリを始めとする貴重な植物や化石まで、さすが国定指定公園に選ばれたすごい島だと感動しました。そんな環境の中だからこそ島のみなさんは、情が厚く、どこにいても温かく歓迎していただき、そんな地域の方々や保護者に見守られて、子供たちはとつても素直で、目をキラキラさせて授業を楽しく受けてくれます。あいさつでも述べましたが、出会いには偶然はない、必ず理由があつてここで出会ったと思うので、その使命を果たしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

教諭 富山 美智隆

四月から甑島での生活が始まり、分からないことが多く、生徒や保護者の方々いろいろな支えて頂きながら、上甑中学校での校務を進められてきました。あたたかい人柄と、雄大な海と山に囲まれ、おだやかに時間が流れているように感じます。

前任校は川内北中学校で、小中交流研修で可愛小学校に3年間勤め、北中校区の小中一貫教育を見てきました。ここ上甑中では中津小との一小一中での交流となり、密に連携し、先進的な取組を行っています。これまで積み上げてきたものを引き

継ぎながら、さらに発展していきたいと思ひます。

部活動は、これまで、卓球部、水泳部、柔道部を見てきました。本校では剣道部の副顧問となり、顧問の先生の指導を頂きながら、少しずつ剣道を勉強中です。

これから上甑中学校の教師としてがんばっていききたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。



『編集後記』

たくさんの方々のご協力のもと、無事に平成二十八年度最初のPTA新聞「南風」を、皆様にお届けすることができました。本当にありがとうございました。ご迷惑をおかけするところもあつたこと、誠に申し訳ありません。中学校生活はあつという間の三年間です。子供たちにとって実りある充実した日々になってほしいものです。周囲に感謝し、また子どもたちと一緒に毎日を大切に過ごしていきたいと思ひます。

今後皆様と一緒に、子どもたちの笑顔や普段はあまり見ることのできない学校の様子などを掲載し、楽しいPTA新聞「南風」を作っていきたいと思ひます。そして、さらに子供たちの学校生活、行事に関心を持っていただけたら幸いです。これからもご協力、よろしくお願ひいたします。

(研修部 部長 小村 まごか)